

小児科臨床研修プログラム

【指導医】

- 金井 理恵（小児科部長）：日本小児科学会小児科専門医・指導医、臨床研修指導医、医学博士、日本血液学会専門医、日本リウマチ学会専門医、がん治療専門医
- 羽根田 泰宏（小児科医長）：日本小児科学会小児科専門医・指導医、臨床研修指導医、医学博士、日本アレルギー学会専門医
- 平出 智裕（小児科医長）：日本小児科学会小児科専門医・指導医、臨床研修指導医、医学博士、島根大学医学部臨床講師
- 山田 健治（小児科医長）：日本小児科学会小児科専門医・指導医、臨床研修指導医、医学博士、島根大学医学部臨床教授

【上級医】 秋好 瑞希（小児科医長）：日本小児科学会 小児科専門医

【期間】：4 週間

【一般目標 GIO】

小児領域における common disease や救急疾患の初期対応を行い、専門科との連携を行うために小児および小児疾患の特性を理解し、より積極的に基本的診療能力を修得する。

【行動目標 SB0 s】

1. 小児の病態生理を理解することができる。
2. 小児領域における common disease や救急疾患を列举できる。
3. 救急外来において専門科の医師に適切なコンサルトができる。
4. 救急外来において入院適応が理解できる。
5. 小児に対して基本的身体所見を評価できる。
6. 入院症例に対して病歴聴取、診察、検査計画に参加する。
7. 入院症例に対する治療計画を自ら立案し、上級医と議論する。
8. 患児、保護者、コメディカルとのコミュニケーション能力を身につける。
9. 小児に対する検査、治療の侵襲について理解する。
10. 新生児、乳児の全身状態の評価法を理解する。

【方略】

1. 小児科入院症例の担当医となり、診療に参加する。
2. 保護者への対応、病歴聴取法、病状説明について学び、自ら実践する。
3. カンファレンス・回診で、受け持ち症例について問題抽出し、発表する。
4. 救急外来診療に参加し、段階的に、病歴聴取、診察処置、病状説明を行う。
5. 分娩、新生児検診、1 か月健診に参加し、新生児、乳児の全身状態の評価法を理解する。
6. 書籍、インターネットを通じたエビデンスの収集方法について学び、担当症例関する文献や、最新の知見についての理解を深める。研修期間中に 1 度は抄読会で演者を担当する。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
8:15～	朝カンファレンス	朝カンファレンス	朝カンファレンス	朝カンファレンス（抄読会）	朝カンファレンス、抄読会（8：00～）
8:30～	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療
9:30～		病棟廻診			
午後	予防接種外来	アレルギー外来	乳児検診・外来		

平日日勤帯：分娩立会い、救急外来、新生児検診については上級医からの連絡時に、見学・参加する。

土曜日・日曜日の時間外：Duty は無い。

【評価】

1. 病院全体の評価方法に準じる。